

平成29年4月～6月期  
地域産業経営動向調査  
〔報告書〕

堺 市

〔 調査実施機関  
堺商工会議所 〕

## 調査の概要

1. 調査目的 堺市管内事業所の経営動向の実態を四半期毎（3月期・6月期・9月期・12月期）に調査し、業況判断指数D I 値等により景気動向を把握する。
2. 調査対象 堺商工会議所会員事業所800社（建設業200社・製造業200社・卸売業100社・小売業100社・サービス業200社）
3. 調査期間 平成29年6月15日（木）～平成29年6月30日（金）
4. 回収率

|       | 調査対象数 | 回収数  | 回収率   |
|-------|-------|------|-------|
| 建設業   | 200社  | 104社 | 52.0% |
| 製造業   | 200社  | 110社 | 55.0% |
| 卸売業   | 100社  | 50社  | 50.0% |
| 小売業   | 100社  | 51社  | 51.0% |
| サービス業 | 200社  | 107社 | 53.5% |
| 全産業   | 800社  | 422社 | 52.8% |

### 【主要な表現について】

- 業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断。
- D I 値 … 「好転」したとする企業割合から「悪化」したとする企業割合を差し引いた値。

### 【各項目別のD I 値の意味について】

- 業況判断 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- 売上高 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- 採算 … D I 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「黒字基調」を、マイナスなら「赤字基調」を表す。
- 資金繰り … D I 値がプラスなら「容易」を、マイナスなら「困難」を表す。
- 雇用人員 … D I 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。  
⇒今期状況 … D I 値がプラスなら「不足」を、マイナスなら「過剰」を表す。

# 調査結果の概観

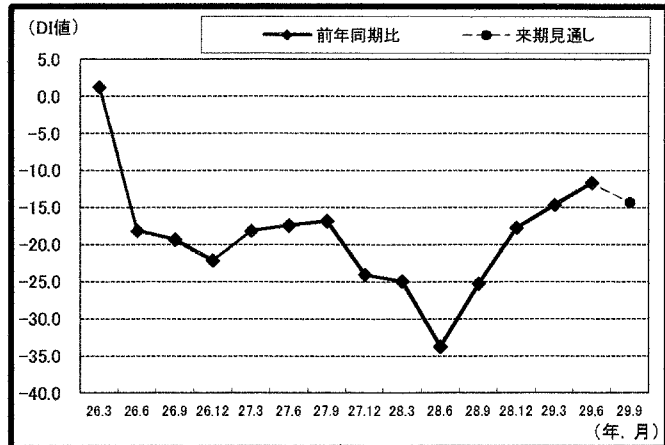
今期(4月～6月期)の前年同期比を見ると、業況判断は4期連続の改善、採算及び雇用人員は改善、資金繰りはやや改善であったが、売上高は横ばいであった。

来期(7月～9月期)の予測については、雇用人員は改善となっている。一方で、売上高は横ばい、業況判断、採算及び資金繰りはやや悪化となっており、引き続き市内中小企業の動向については、注視していく必要がある。

## 1. 業況判断の動向

- ・前年同期比の指標は4期連続で改善。  
( $\Delta 14.6 \Rightarrow \Delta 11.6$ )
- ・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $\Delta 11.6 \Rightarrow \Delta 14.2$ )
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業は横ばい。卸売業は改善。小売業は3期連続で改善。サービス業は改善し、改善傾向は4期連続。

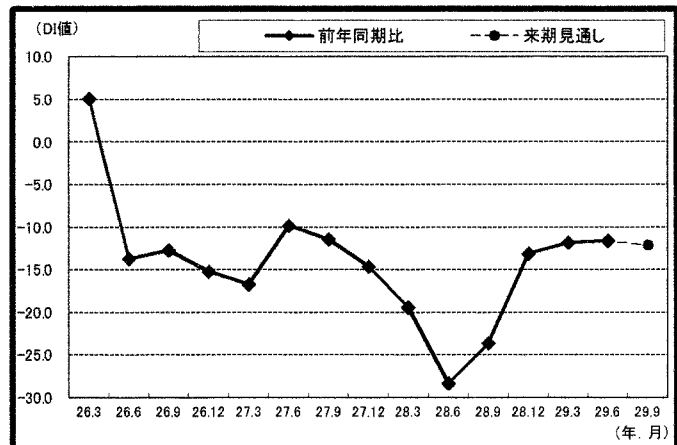
### ・前年同期比の指標は4期連続で改善。



## 2. 売上高の動向

- ・前年同期比の指標は横ばい。  
( $\Delta 11.8 \Rightarrow \Delta 11.6$ )
- ・来期見通しの指標は横ばいと予測。  
( $\Delta 11.6 \Rightarrow \Delta 12.1$ )
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は2期連続で悪化。製造業は4期連続で改善。卸売業は改善。小売業は2期連続で悪化。サービス業は横ばい。

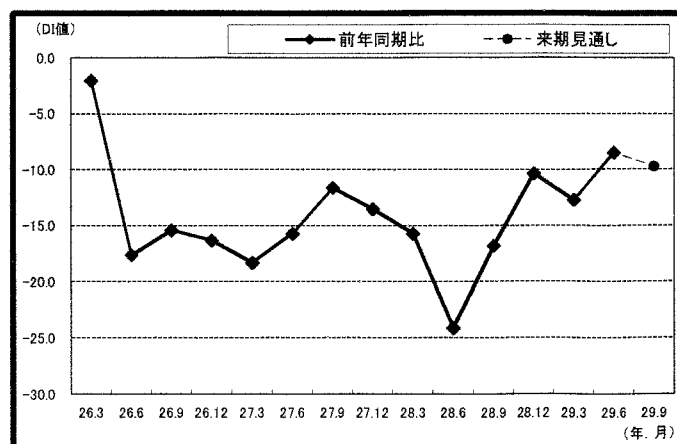
### ・前年同期比の指標は横ばい。



## 3. 採算の動向

- ・前年同期比の指標は改善。  
( $\Delta 12.7 \Rightarrow \Delta 8.5$ )
- ・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
( $\Delta 8.5 \Rightarrow \Delta 9.7$ )
- ・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は横ばい。製造業は改善。卸売業は横ばい。小売業は悪化し、悪化傾向は2期連続。サービス業はやや改善し、改善傾向は4期連続。

### ・前年同期比の指標は改善。



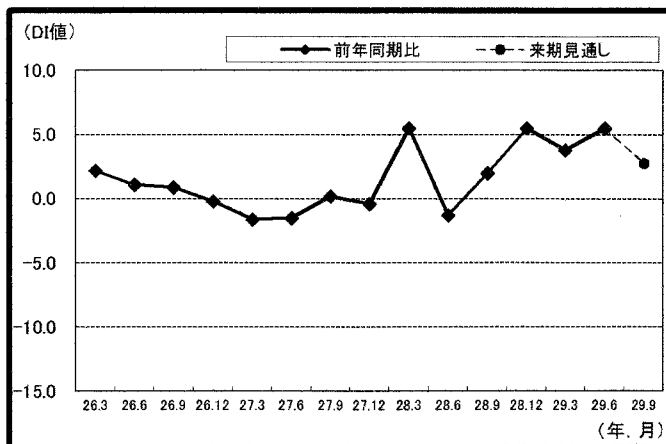
#### 4. 資金繰りの動向

・前年同期比の指標はやや改善。  
(3.8⇒5.5)

・来期見通しの指標はやや悪化と予測。  
(5.5⇒2.8)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業はやや悪化し、悪化傾向は3期連続。製造業はやや悪化。卸売業は改善。小売業は2期連続でやや悪化。サービス業は改善し、改善傾向は4期連続。

・前年同期比の指標はやや改善。



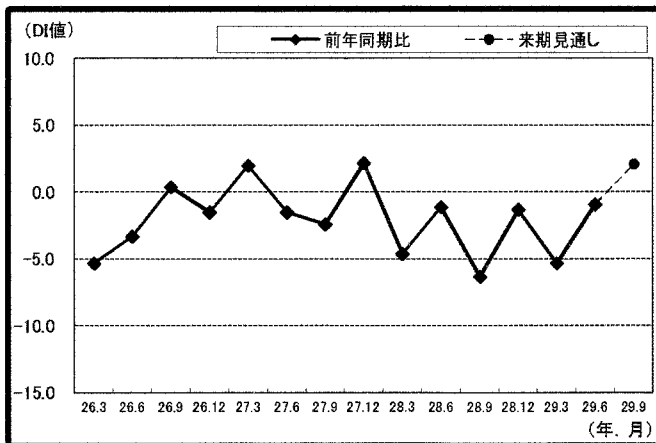
#### 5. 雇用人員の動向

・前年同期比の指標は改善。  
(△5.3⇒△0.9)

・来期見通しの指標は改善と予測。  
(△0.9⇒2.1)

・業種別に前年同期比の指標を見ると、建設業は悪化。製造業、卸売業及びサービス業は改善。小売業は横ばい。

・前年同期比の指標は改善。



### 来期見通し

平成28年7月～9月期と比較した平成29年7月～9月期の見通しは、雇用人員は改善、売上高は横ばい、業況判断、採算及び資金繰りはやや悪化となっている。